



山笑う雨上がり初夏の陽気にさそわれて、ぶら〜り来ました戸口地区。見渡せば水稲、ししとう、茶などが栽培されており、13世帯が西日受けする山すそに居を構えている。冬の寒い夕方方は、最後まで陽が当たってくれるのがある。

ここには氏神様、八幡宮と子やすの地蔵で有名なお茶堂の3つの社が祭られており、まずはご挨拶に、と氏神様に行ってみました。階段の長いこと！膝をもみもみ登った。おめでたい福が迎えてくれ、何と瓦は特注とみた。棟切りの大瓦には亀の文様に河内神社と銘が刻まれ、差し出しの三方に寿老人、恵比寿、布袋のお三方が、破風板を飾る木彫には鶴のレリーフが参拝者を迎えている。



河内神社の七福神

鳥を通って来ました。随分入って来たように思うけど、ここは戸口ですよ。地元の人に声をかけてみた。「そう戸口。昔は野々川の一部だったの。野々川から見ればほんの入口、戸口

なんよ」なるほど。大変よくわかりました。「田んぼの水はどうです?」「切れる」山懐の集落でも用水不足のようだ。そのため、水のある奥山から黒パイプで水を引いており、その延長は2km以上もおよぶ。昔は素掘の溝で田役作業には何人役もなかったとのこと。そうした先人のご苦労のしるはれる地区であり、ここも見事な石積が目を引き、さすがに今は耕作はしていないが、石を積み上げ農地を作った段々畑が天に上っている。上方の畑は幅が2mにも満たない。



鶴と亀

昔から出部役で作業してきた関係から皆さん仲良しとのこと。仲良しの里にマッチするのが子やすの地蔵様。安産のご祈願を受け賜り成就のあかつきには産着を奉納する。「誰に聞いたのか段々にお参りに来るぞね」人々来る里、何せ戸口ですもの。山里の地区であるが、前は四万十川、広場には川舟が3艘置かれ本番の夏を待っていた。

### 町のうごき

(4月30日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	9,337	15	男 5	12	50	28
女	10,457	12	女 1	13	50	26
計	19,794	27	計 6	25	100	54
世帯数	8,817	38	(4月中の届出)			

### 四万十川の水質状況

	適正値(mg/l)	4月15日
リン酸	≤ 5.0	測定値以下
硝酸	≤ 0.5	測定値以下
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.450
化学的酸素消費量	≤ 10.0	2.503

調査：大正（吾川）  
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)